

## はじめに

## 施政方針

## (要旨)

合併後これまでの5年間、真剣に阿蘇市の基礎固めに取り組んできました。しかし、大きく変動する国内外の経済情勢、また年度途中での国の政策転換や事業仕分けによる各種施策の変更等もあり、阿蘇市も大変厳しい環境であります。ですが、市民の皆さま一人ひとりの熱い思いを大切に、安心して安全に暮らせる魅力あるまちづくりを目指し、より一層知恵と工夫、そして行動を重ね、心の通った市政の運営に心がけてまいりたいと思っています。

## 【市の財政】



国は、景気後退及びデフレ克服に対処するため、平成21年度第2次補正予算と平成22年度予算を一体として切れ目なく執行することにより、景気の持ち直しの動きを確かなものにするとしています。地方財政については、社会保障経費の自然増等により財源不足が過去最大規模に拡大し、財政運営が圧迫される厳しい状況ではありますが、「地域主権」の確立に向けて、住民生活の安心・安全と地域の活力を回復させていくことが必要として、地方交付税の増額等を行つております。

本市では、「安心・安全に暮らせるまちづくり」を基軸に当初予算

**【新企画・市民による提案の導入】**

本年度から市民の方々の暮らしの中から生まれる政策アイデアを掘り起こすため、市に対して提案できる政策提案制度「阿蘇市まちづくり政策アイデア提案事業」を

を編成しました。國の方針に合わせて、「公共投資臨時交付金」や「きめ細かな臨時交付金」を活用した20億円規模の平成21年度一般会計補正予算を議会に上程し、平成22年度当初予算と一体となつた予算としています。

昨年発足した新政権は、「コンクリートから人へ」「地域主権」など

5つの基本理念と官僚主導から政治主導への転換を掲げ、予算編成過程を刷新し、補助金の一括交付金化等の方針を示しましたが、日程不足により、地方との調整や細かな制度設計が示されなかつたことにより予算編成に影響が出ている部分もあるため、事業内容が決定次第予算化を図つてまいります。

## 【行財政改革】

行政改革については、「阿蘇市行政改革大綱」を基本に、市民品位の効率的で質の高い成果重視の市政への転換を図るため、政策や施設の事前評価・事後評価などの「行政評価」を充実させ、現場の意識改革や施策・事業の改善に繋げてまいります。

## 健康でいきいきと暮らすために

## 【健康福祉】

障害者福祉については、国の新たな仕組みが出来るまでの取り組みとして、低所得者の方々の福祉サービス及び補装具に係る負担軽減を行います。また、「相談支援充実・強化事業」を一層充実させ、引きこもりがちな障がい者の方々への相談支援体制の強化に努めます。



設け、市民誰もが市に愛着と誇りを持ち、お互い支えあいながら市政への参画と協働による開かれた個性的で魅力あるまちづくりを実践していくこととしています。

**生活保護業務**は、相談助言活動、受給者の自立支援の応援に努めます。

離職者の方々を支援する住宅手当緊急特別措置事業を継続実施し、離職者で住宅を喪失している人に対し住宅手当を支給しながら、就労機会の確保に向けた取り組みを行っています。

[健康でいきいきと暮らすために]

- ・阿蘇市社会福祉協議会運営費負担金……………5,668万円
- ・身体障害者等地方年金事業……………1,200万円
- ・重度心身障害者医療費助成事業……………8,640万円
- ・地域活動支援センター委託事業……………1,720万円
- ・自立支援医療費（更生医療分）助成事業……………3,614万円
- ・相談支援事業委託……………1,223万円
- ・日中一時支援事業委託……………1,080万円
- ・自立支援給付事業……………4億1,333万円
- ・補装具給付事業……………1,500万円
- ・身体障害者住宅改造助成事業……………210万円
- ・特別障害者手当等給付事業……………1,545万円
- ・通所サービス利用促進事業……………160万円
- ・高齢者住宅改造助成事業費補助……………1,027万円
- ・老人クラブ連合会活動等事業補助……………993万円
- ・敬老会補助……………1,028万円
- ・老人ホーム上寿園運営費……………1億2,654万円
- ・介護予防施設管理費用（福寿荘、波野ふれあいプラザ、ふれあいプラザ北外輪）……………406万円
- ・後期高齢者医療広域連合負担金……………4億5,055万円
- ・放課後健全育成委託事業……………1,261万円
- ・乳幼児医療費助成事業……………4,939万円
- ・児童・育児手当……………1億9,644万円
- ・子ども手当……………4億2,141万円
- ・児童生徒医療費助成事業……………2,040万円
- ・母子家庭支援事業……………947万円
- ・保育園運営費……………9億4,905万円
- ・生活保護扶助費用……………2億5,016万円
- ・輪番制（日曜・祝日在宅）病院運営事業補助……………1,018万円
- ・インフルエンザ予防接種・個別接種委託事業……………4,779万円
- ・新型インフルエンザワクチン接種補助……………1,500万円
- ・各種検診委託料……………4,424万円
- ・妊婦・乳幼児検診等委託事業……………1,883万円

今後も保健所等関係機関と連携し全力で対応していきます。

**国民健康保険**は、医療費は増加の傾向で財政的に厳しい状況ですが、本年度も税率を据え置き、特定健診検査の個人負担軽減や人間ドック費用の一部助成を行い、特定健診検査・特定保健指導の受診促進による医療費の適正化に努め、円滑な運営に取り組みます。

【高齢者福祉】

各地域で見守り活動やサロン等の定期的な集まりが開催され、それぞれの地域での健康維持に対する取り組みも活発になりつつあります。引き続き支援していきます。

**地域包括支援センター**では、認知症の早期診断・診療に向け、やまなみ病院の協力により「もの忘れ相談会」を開催するとともに、

認知症連携担当者を配置し、相談支援の充実をしていきます。

養護老人ホーム上寿園について

熊本で平成23年10月に「第24回全国健康福祉祭（ねんりんピック）」が開催されます。本市では阿蘇ゴルフ俱楽部でゴルフ競技が開催されますので、実行委員会を組織し準備を進めてまいります。

【阿蘇中央病院】

昨年6月に阿蘇中央病院建設準備室を設置し、本格的な病院建設に着手するための基本構想・基本計画を作成しております。本年度は、

医学部附属病院から事務部長及びゼネラルリスクマネージャーを採用し、より良い病院建設に向けた体制強化を図りながら、平成25年度までの「開院」を目指します。

また、熊本県が策定した地域医療再生計画（阿蘇編）に基づき、急性期医療を進める阿蘇中央病院は、地

域の医師会等との連携が大変重要でありますので、阿蘇医療圏としての地域連携の協議を進めてまいります。

## 活力ある農林業のために

国の新たな水田農業政策は、今までの扱い手に特化した所得補償から、原則全農家を対象とする戸別所得補償制度に移行されます。平成23年度からの制度導入に向け、本年度はモデル的な取り組みとして、稻作農家を対象に、米戸別所得補償モデル事業と水田利活用自給力

### 【活力ある農林業のために】

- ・ 営農生産部会活動支援事業補助 ..... 200万円
- ・ 自立経営体育成資金利子補給補助 ..... 294万円
- ・ 家畜導入事業補助 ..... 744万円
- ・ あか牛オーナー制度事業補助 ..... 30万円
- ・ くまもと和牛緊急増頭対策事業補助 ..... 403万円
- ・ 牛異常産予防接種補助、放牧寄生虫駆除薬補助、赤牛  
産直素牛導入補助、受精卵移植補助 ..... 1,154万円
- ・ 家畜導入事業資金供給事業補助 ..... 1,288万円
- ・ 農道等整備事業 ..... 6,984万円
- ・ 県営経営体育成基盤整備事業負担金 ..... 1,360万円
- ・ 県営経営体育成基盤整備事業水路工事負担金 ..... 1,025万円
- ・ 熊本県農地・水・環境保全協議会補助 ..... 9,000万円
- ・ 中山間地域総合整備事業県営事業負担金 ..... 410万円
- ・ 地籍調査事業 ..... 2,858万円
- ・ 経営構造対策事業費負担金（リース事業） ..... 576万円
- ・ バイオマスエネルギー実証実験事業 ..... 3,375万円
- ・ 市有林防火線設置委託 ..... 527万円
- ・ 森林総合研究所分取造林事業業務委託 ..... 925万円
- ・ 森を育てる間伐材利用推進事業補助 ..... 1,636万円
- ・ 林道整備事業 ..... 1,794万円
- ・ 森林整備地域活動支援交付金事業補助 ..... 1,600万円

向上事業の二本立てにより実施されます。本市においては、農業振興が地域経済の発展の上で大変重要であり新制度のメリット等を最大限に引き出すためにも、扱い手農家の確保・育成や集落営農組織等の支援育成等を引き続き進めながら、本モデル制度の効果を十分に検証してまいります。

### 畜産振興

については、阿蘇地域

特有の草資源と広大な水田を活用した自給飼料の確保や周年放牧等を積極的に進め、経営の安定化を図つてまいります。

### 阿蘇東部地域の農業振興策

として、現在熊本県土地改良事業団体連合会が事業主体となり、波野地区2箇所に約10ヘクタールの農地を借上げ、国費100%で約3ヘクタールのハウス整備と露地作物栽培ほ場のモデル団地整備を行っています。本年度以降は、このモデル団地を核とした営農団地を広げ、阿蘇東部寒冷地域の営農確立を目指します。

**農業生産基盤の整備**については、老朽化したほ場整備工区の再整備のための「経営体育成基盤整備事業」や三久保地区の「農地集積加速化基盤整備事業」を継続実施します。

### 【バイオマス事業】

草本系バイオマスエネルギー地域システム化実験事業は、5年間の実証実験の成果を5月までにまとめ、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構へ報告し、一般に公開される予定です。

本年度は、構築したシステムを活用して実験期間中に解決出来なかつた課題に取り組んでまいります。また、事業終了後は環境学習施設として活用し、環境保全に対する取り組む姿勢を全国に発信し、「国際環境観光都市・阿蘇市」を目指します。

年間を通して観光イベントについて、関係機関との連携を深め、更に充実したイベントとして取り組みます。また、新たな展開として内牧街角ギャラリーを近々オーブンし、商店街での滞在時間延長に繋げたいと思います。



九州新幹線全線開業を控え、昨年は県外に向け、阿蘇の魅力を発信する取り組みを積極的に行いました。今年度は、インフォメーションセンターに、2体のイメージキャラクター（着ぐるみ）を加え、更にインパクトのある体制で引き続き対象地域への阿蘇の売り込みを行います。地域への阿蘇の売り込みを行なった結果、市内外から809件の応募がありました。

## 地域振興と観光産業活性のために

### 【商工・観光振興】

今年度は、インフォメーションセンターに、2体のイメージキャラクター（着ぐるみ）を加え、更にインパクトのある体制で引き続き対象地域への阿蘇の売り込みを行います。地域への阿蘇の売り込みを行なった結果、市内外から809件の応募がありました。

### [地域振興と観光産業活性のために]

- ・商工会・観光団体等補助……………3,624万円
- ・景観整備事業補助……………270万円
- ・商店街活性化事業補助（空家等対策事業）……………807万円
- ・阿蘇内牧ファミリーパーク管理運営事業……………118万円
- ・外国人向け観光案内業務委託事業……………165万円
- ・イメージキャラクターグッズ等作成委託事業……………300万円
- ・阿蘇の火まつり負担金……………218万円
- ・阿蘇の花の祭典補助……………700万円
- ・地域振興型イベント補助……………1,500万円
- ・大阿蘇クロスカントリー大会補助……………180万円
- ・バルーンフェスティバル補助……………675万円
- ・鉱泉源施設管理運営補助……………1,315万円
- ・阿蘇駅周辺再開発事業……………1,800万円
- ・人づくり・地域づくり事業補助……………200万円
- ・なでしこサッカーin阿蘇放送委託事業……………100万円
- ・いこいの村食器洗浄機改修工事……………633万円
- ・ふるさと雇用再生特別基金事業……………1,964万円
- ・緊急雇用創出基金事業……………4,614万円
- ・重点分野雇用創造事業……………1,480万円

**【地域振興】**  
創出事業等を十分に活用し雇用確保に努め、本年は昨年からの継続雇用も含め71名の雇用を予定しています。

**【阿蘇駅周辺再開発事業】**  
ターリーの車両停車帯が手狭であるため、隣接する西側の土地を取得し、観光バス、路線バス、タクシーの駐車場を整備する阿蘇駅周辺交通ネットワーク整備（モータープール）事業を進めます。

**【阿蘇西部地区玄関口施設整備事業】**  
として、赤水地区に農産物の提供や観光交流、情報発信を担う拠点施設の整備を進めます。この整備には、国の第2次補正予算で創設された臨時交付金を活用し、平成21年



▲阿蘇地域で観光客の利用が最も多い阿蘇駅

**【内牧防犯灯整備事業】**  
内牧温泉街にある防犯灯が、設置後、約20年が経過し、景観を損うことから、今般の国土交通省の地域活力基盤創造交付金の内示を受け、防犯灯をリニューアルするものです。  
「阿蘇内牧ファミリーパーク」については、関係者各位のご理解とご協力で、予定どおり工事を終え、4月17日に落成式、翌18日から才一ブン致します。なお、遊具施設の愛称については、市民の皆様方から多数のご応募をいただいた結果、恵まれた阿蘇の環境の中で安心して安全に楽しく遊ぶことができる場所として『あそ☆ビバ』に決定しました。

度の補正予算に総額8,000万円の工事費を計上しています。

### 【情報基盤整備】

本市の光インターネットの情報通信基盤は民間資本による整備は採算上難しいことから、緊急経済対策の一つである公共投資臨時交付金等を活用し、産山村と共同で光ネットワークの整備に取り組むことになりました。

この事業は地域の情報格差解消、市民サービスの向上、地域活性化等のため、市内全域への光ネットワークを総事業費約31億円かけ平成23年3月までに構築するものでのテレビ電話、お知らせ端末による情報提供を行います。

市営住宅については、平成20年度から市営住宅再整備事業により計画的に整備を進め、平成21年度は新小里団地2棟目と池尻団地1棟目の工事を行っています。平成22年度は池尻団地2棟目の建設に着手してまいります。

市営住宅については、平成20年度から市営住宅再整備事業により計画的に整備を進め、平成21年度は新小里団地2棟目と池尻団地1棟目の工事を行っています。平成22年度は池尻団地2棟目の建設に着手してまいります。

## 住みよいまちづくりのためには

### 【道路整備・市営住宅整備】

阿蘇市幹線道路整備事業については、完了区間の一部供用開始を行なが、本年度も用地取得が済んだ区間から随時工事に着手、計画路線の早期竣工に向け、全力で取り組みます。

市営住宅については、平成20年度から市営住宅再整備事業により計画的に整備を進め、平成21年度は新小里団地2棟目と池尻団地1棟目の工事を行っています。平成22年度は池尻団地2棟目の建設に着手してまいります。



今後は、インターネットを活用した行政と市民の方々との情報交換が可能となり、防災行政無線の活用など安心・安全なまちづくり、身近な観光情報を国内外に直接発信、また企業誘致や定住促進等にも繋がることになります。

### 【防災】

防災面については、荻の草・舞谷地区、及び深葉地区の携帯電話の不感地域の解消のため、10月初旬頃には計9箇所の基地局施設（電波中継鉄塔）を完成させ、その後、光ネットワークのケーブルの接続が完了次第、運用可能となります。

観光の心臓部である「中岳火口見学」は、火山性ガスの発生濃度により火口見学の規制を行うことから、「**火口見学ができる体制づくり**」に向け、阿蘇火山防災

会議協議会で「地下道による見学施設設置」等の基本計画構想策定を進めています。今後、万全な安全対策のもと、新たな阿蘇観光の振興と山上の活性化を進めたいと思っています。

### 【人権啓発】

「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」の基本理念に基づき、

尊重される明るいまちづくり実現のため、関係機関や団体等と連携し進めてまいります。

特に本年度は、  
阿蘇市において「郡  
市人権同和教育

### 【住みよいまちづくりのために】

・市道維持事業	2,879万円
・市道新設改良事業	1億7,206万円
・幹線道路（通称8メートル道路）整備事業	7億3,807万円
・河川等改修整備事業	3,230万円
・公営住宅整備事業	4億1,187万円
・ASO環境共生基金事業	428万円
・波野地区バス運行委託事業	282万円
・地方バス運行等特別対策補助	6,100万円
・乗合タクシー運行補助等	208万円
・阿蘇広域負担金（火葬、RDF施設、リサイクル施設、最終処分場、し尿処理）	7億5,532万円
・合併処理浄化槽設置整備事業費補助	5,778万円
・ごみ収集運搬及びごみ処理費用	3,680万円
・人権啓発及び指導関係費用	1,638万円
・コミュニティー助成事業費用（地域自主活動）	240万円
・上水道整備事業	2億1,175万円
・簡易水道事業整備事業	3,380万円
・下水道整備事業	2億7,545万円
・阿蘇火山及び防災対策事業（ガス対策監視員・噴火対策費用等）	2,376万円
・交通安全対策事業（交通指導員、ガードレール、カーブミラー設置等）	1,719万円
・阿蘇広域負担金（消防費）	3億8,989万円
・消防団活動費用	6,299万円
・消防施設整備事業（消火栓設置、防火水槽設置等）	2,503万円
・防災行政無線管理費用（保守点検、修繕等）	1,429万円
・辺地共聴施設整備事業補助	3,200万円
・地上デジタル放送共同受信施設整備補助	875万円

### 【上水道】

研究大会」及び「部落解放熊本県研究集会」が開催されることから、地元実行委員会を組織して大会運営を支援していきます。  
また、男女共同参画社会の推進については、今後も関係機関と協力しながら、男女がともに協力し合える社会を目指し、固定的性別役割分担意識の払拭など課題解決に向けて、着実に進めてまいります。

豊富低廉、安心・安全な水の供給に努めます。今後も引き続き老朽化した配水施設の設備更新及び配水管更新を行うとともに、効果的な維持管理に努め住民サービスの向上に取り組んでいきます。

## 【下水道】

阿蘇市公共下水道事業の平成21年度末の整備状況は、北黒川地区の管渠整備を含め、認可区域に対する約76%にあたる283ヘクタールの整備が終わり、下水道水洗化率約66%となる見込みです。なお、下水道関連施設については、当初の整備から30年以上を経過し老朽化も著しく、阿蘇市浄化セン

ター（下水道処理場）については、最も重要な部分であるポンプ設備の改修を平成21年度から、浄化センター本体についても本年度から改修を進め、併せて劣化が著しい主要幹線管渠についても長寿命化事業に着手します。

## 教育の充実のために

### 【学校教育】

本年度から、「学びの態度づくり」「家庭学習の充実」「言語活動の充実」

財源は、国の交付金16億1千万円、合併特例債10億4千万円、一般財源6千万円を予定しています。用地については、内牧・三久保地区を選定しています。

本年度から学校関係者、PTA関係者、地域住民の代表で構成する統合準備委員会を発足させ、校名、校歌、校章、教育課程や交流事業、通学体制の協議を行いながら、平成24年4月開校に向けた実務的な取り組みをしてまいります。



家庭や地域の力を借りた「放課後子ども教室」、「学校支援地域本部事業」についても継続的に取り組みます。さらに、この支援体制を発展させ、学校応援団としての「コミニティ・スクール」の組織づくりを行い、学校・家庭・地域が一体となつての教育を推進してまいります。

## 【世界遺産登録に向け】

阿蘇の世界文化遺産登録推進については、昨年度から、阿蘇世界文化遺産推進室の設置に続き、推進協議会の設立や「阿蘇世界文化遺産シンポジウム」の開催など阿蘇郡市一体となつた取り組みがスタートしました。また、「阿蘇文化的景観調査検討委員会」を開催するなど、今後も引き続き、関係町村や地元との連携を図りながら学術調査等を進め、その重要性を国内外に発信し、一步一歩前進してまいります。

以上を今年度の施政方針と致します。市民の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

